



かどわきっ子

学校支援会議

先月17日(火)に、今年度2回目の「学校支援会議」を開きました。1回目は、6月の「かどわきっ子の心を見つめる教育週間」に開いています。この会の目的は、会則で以下のように定められています。

学校・家庭・地域が一体となって三者が有する教育力を結集して将来にわたって大野木場小学校を支援し、心身ともに豊かでたくましい健全な子どもを育むための活動を推進する。

コロナ禍以降、地元老人会や保育園など、学校と地域との連携が十分に取戻せていない状況があります。「地域の子どもは地域で育てる。」の合言葉のもと、学校・家庭・地域がどのような連携が可能なのかを議論しました。

今年度も共有目標は、「自分から進んであいさつします」でした。学校では、3か年計画で指導をし、今年度はその2年目です。

(No.4 R6.5.17号より)

「挨拶」は、感謝の心を育てます。

「おはようございます。」には、「今日も一日よろしくお祈りします。」という心が入っています。「さようなら。」には、「今日一日楽しく過ごせました。ありがとう。」という感謝の心が入っています。

1年後…学校・学級で朝の挨拶ができる

2年後…家庭・集合場所で挨拶ができる

3年後…地域で挨拶ができる

集合場所での挨拶は、まだ十分ではありませんが、来年度は「地域での挨拶」ができるように指導していきたいと思えます。

会議の中で、委員の渡邊様からは、集団登校の様子や挨拶を褒めていただきました。下級生のお世話を当たり前のようにしている班長さんや副班長さんのすばらしさを聞くことができました。

吉岡様からは、授業の様子を見て、大野木場小学校の子どもは優しい、感動したと褒めていただきました。4年生の箏の体験学習のときに、「練習する友達を横でじっと見守り、できた部分を褒めてあげていた」とのことでした。

優しさは、教えられるものではありません。他から受けることで学ぶものです。その子はきっと、友達や家族など身近な人から優しい心遣いを受けた経験があるのでしょうか。だからこそ、友達に同じことをしてあげていたに違いありません。「優しい」と褒めていただけるのは、一番の喜びです。

学校保健委員会

今月2日(月)に、今年度3回目の学校保健委員会を開きました。この日は、低学年の授業参観・学級部会、夜にはPTA評議員会と盛りだくさんでした。関係の保護者の皆様、誠にありがとうございました。

今年度のテーマは、「生活習慣を見直し、メディアと上手に付き合おう!」として、各家庭への啓発やげんき貯金に取り組んできました。

朝食が主食だけになっている子、寝る時刻が遅くなる子、ゲーム・タブレットなど親が言ってもやめない子など、いろんな課題があげられました。

いただいた御意見を参考にして、来年度も児童の心と体の健康づくりを目指していきたいと思えます。御参加、ありがとうございました。

卒業式

今週18日(水)は、第79回卒業証書授与式です。卒業生の6年間の頑張りを称賛するとともに、これからの中学校生活が充実したものになることをお祈りいたします。

6年生になって、ぐんと成長した子どもたち。返事や挨拶は、全校のお手本でした。下級生に優しい言葉を掛ける姿に、大きな成長を感じました。13名の子どもたちが、それぞれの場所で大きな花を咲かせることを心から祈っています。

3月18日(水)

9時30分 開式

6年生が巣立ちます!